

痛みに思い 希望

熊岡路矢 日本国際ボランティアセンター(JVC)代表



被災者こそ再建の主役

活動開始以来25年になります。が、私たちはタイで生まれた団体です。アジアで受け入れられ助けられた者として、被災の大きさに衝撃を受けながらも、何か役に立ちたいと思い、津波発生翌日からタイのメンバーが動き出しました。地元NGOを中心にネットワークができ、そのパングク会議に参加し、

くまおか・みちや 80年インドシナ難民救済活動を始め、JVC創設に参加。95年から代表。国際協力NGOセンター理事。パレンブナ、イラックなどで人道援助活動を経験。著書にカンボジア最前線など。57歳。

活動開始以来25年になります。が、私たちはタイで生まれた団体です。アジアで受け入れられ助けられた者として、被災の大きさに衝撃を受けながらも、何か役に立ちたいと思い、津波発生翌日からタイのメンバーが動き出しました。地元NGOを中心にネットワークができ、そのパングク会議に参加し、

くまおか・みちや 80年インドシナ難民救済活動を始め、JVC創設に参加。95年から代表。国際協力NGOセンター理事。パレンブナ、イラックなどで人道援助活動を経験。著書にカンボジア最前線など。57歳。

石川薫 外務省経済局長



人と人の「連帯」が基盤

政府は今回の地震・津波被害で5億ドルを振り込みます。半分は被災された国々、半分は国連の機関への応援という形です。私どもの人道支援や開発支援では「人間の安全保障」という考え方があります。人間らしく生まれ、人間らしく生き、人間らしく暮らす。これは世界でそんなに当たり前のこと

いしかわ・かおる 72年外務省入り。経済局審議官、特約的開発サミットNGO担当大使、国際社会協力部長などを経て、今月から現職。著書に「アフリカの火」「統合ECのすべて」など。54歳。

政府は今回の地震・津波被害で5億ドルを振り込みます。半分は被災された国々、半分は国連の機関への応援という形です。私どもの人道支援や開発支援では「人間の安全保障」という考え方があります。人間らしく生まれ、人間らしく生き、人間らしく暮らす。これは世界でそんなに当たり前のこと

いしかわ・かおる 72年外務省入り。経済局審議官、特約的開発サミットNGO担当大使、国際社会協力部長などを経て、今月から現職。著書に「アフリカの火」「統合ECのすべて」など。54歳。

とではありません。実現されていない理由の一つが突然の災害です。災害は国境を越えて被害を及ぼす必要要因であるという根本的認識を持っています。

段階での把握です。インドネシアでは30万軒の田舎が使い物にならない。スリランカ南部では12の漁港のうち10が使い物にならない。そういう事態を把握せずに、とんちんかんものを送っても役に立ちません。

題もあります。その辺の気遣いはどうしていますか。

熊岡さん 民族運動や独立運動を抱える紛争地ですが、今回は2カ所あります。インドネシアのアチェが独立運動を抱え、スリランカ北部はタミル・イーラム解放のトラ